

# 肝細胞癌患者におけるレンバチニブの蛋白尿発現リスク因子の解析

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

## 研究の目的と方法

肝細胞癌の治療において、レンバチニブによる薬物治療が広く用いられています。

レンバチニブによる主な副作用に尿蛋白発現があり、注意深く観察しながらモニタリングしている状況ですが、その程度が大きいと、レンバチニブを休薬、または中止を要する事も少なくありません。

レンバチニブによる尿蛋白発現のリスク因子について、いくつかの報告はありますが、症例数が限られた報告のみであり、さらなる検討が必要な状況です。

今回、当院におけるレンバチニブ使用者の尿蛋白発現状況と影響しうるリスク因子について検討し、より安全な薬物治療の実践に尽力します。

診療の中で得られた情報を使用しますが、この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。収集した情報は個人情報进行削除します。データは当院にて情報を集約し、解析・検証を行います。

## 研究の対象となる方

2018年3月～2021年9月に当院で肝細胞癌の治療のためにレンバチニブの処方を受けられた方

## 使用する試料・情報

年齢、性別、身長、体重、既往歴、服薬情報など

## 研究予定期間

研究実施許可日～2022年10月31日

## 個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 薬剤部 高橋 周平

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

## 研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さん治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 薬剤部 高橋 周平 (研究責任者)

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)

